



魅力ある快適な農村環境を実現

農村総合整備モデル事業 実施計画作成進む

農村総合整備モデル事業・地域振興特別推進型(通称スーパーモデル)の実施計画作成作業が急ピッチで進められています。魅力ある快適な農村環境を目指し進められているこの事業、実施期間はおおむね8年で、標準事業費は30億円程度というビッグなもの。計画では、ルーラルアメニティーロード(自転車・歩行者専用道路)や農村公園の設置を予定。国・県との最終的な協議を経て、来年度から事業実施されます。

農村総合整備モデル事業整備方針

農道整備	11路線 延長6,640㍍ 未改良で幅員が狭い農道や、整備が遅れている果樹地帯の農道を中心に整備。
農業用排水路整備	1路線 延長1,440㍍ 用水の水質確保と農用地の環境保全を図り、生産性の向上と維持管理費の節減のため整備。
集落道整備	11路線 延長17,770㍍ 主要幹線道路との接続道路網を整備し、農業生産の効率化と大型農業機械の運行を可能にします。また、ルーラルアメニティーロードを整備し、農村の快適性の向上と活性化を図ります。地域住民のコミュニティーの形成と、交流の場として利用できる拠点施設とします。
集落排水路整備	2路線 延長1,450㍍ 生活雑排水の流入による農業用水の汚濁防止と悪臭の解消のため整備。
集落防災安全施設整備	防火水槽23基、用水路蓋2路線 延長5,060㍍ 消防水利の充実を図るため、防火水槽を設置。また、安全対策として、集落居住区や通学道路沿いの用水路にふたを設置。
農村公園施設整備	7カ所 面積25,000平方㍍ 子供たちが安心して遊べ、さらに都市住民との交流が可能な農村公園を整備。

魅力ある農村環境を創出

農村総合整備モデル事業は、三月に国土庁から承認を受けた白根市農村総合整備計画に沿って整備を進めるものです。農村の良さを再認識し、子供から高齢者まで安心して定住でき、若者にも魅力がある農村環境を整備することを目的としています。

経済的ゆとりや自由時間が増大した現代では、農村地域も生産の場というだけでなく、快適な居住環境が求められています。また、都市近郊農村の利点を生かし、都市住民と積極的な交流を進めることは、農業・農村の活性化と、経済的な効果も見込まれます。

ルーラルロードと農村公園を設置

実施計画では、ルーラルアメニティーロード(自転車・歩行者専用道路)と農村公園を核として、農村整備を進めることにしています。ルーラルアメニティーロードは、農村地域のシンボルロードとして整備するもの。集落間を結ぶ道路としての機能だけでなく、休憩施設の設置や植樹を行い、農村の美しい四季が感じられるサイクリングロードとします。美しい農村の景観は、農業への理解とイメージアップが図られ、若者の定着や都市住民との交流が期待できます。

現在、農村公園は一カ所(茨曾根地区)しか整備されていません。地域住民からは、子供たちが安心して遊べ、さらにスポーツやレクリエーションもできる公園整備が望まれています。実施計画では、学校跡地や公共用地を利用して、七カ所の農村公園の設置を予定しています。そのうち一カ所は大規模農村公園として整備。ルーラルアメニティーロードと一体的に整備し、収穫祭、イベント、運動会やスポーツなどが楽しめます。農村公園整備は、コミュニティー活動や都市住民との交流を活性化し、地域の活性化が期待できます。

人間尊重と生活優先の整備

アンケート調査や地区懇談会の開催などを通じて、農村整備に対する市民の意識や価値観は「物的充足」から「質的充足」へと変化してきています。本市の農村整備は、利便性のみを追求するものでなく、そこに人が住み、働き、憩うという「人間」に視点を置いた人間尊重と生活優先の整備を重点に推進していきます。